

# 総合計画策定に関するアンケート調査

平素から市政に対し、ご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

本市では、「第6次尾鷲市総合計画」が令和3年度をもって計画期間が終了するため、今年度から「第7次尾鷲市総合計画」（以下「総合計画」という。）の策定にむけた準備を進めています。

また、今回の総合計画においては、国土強靱化基本法（強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法）に基づき、大規模自然災害に備えた強靱な地域づくりを進めるための「尾鷲市国土強靱化地域計画」の策定が求められているため、策定にあたっては「総合計画」との連携・整合性が重要になることから、一体的に策定することとしています。

本調査は、市の施策や近年の社会・経済動向に対するご意見を把握し、その結果を総合計画の策定に反映させることを目的として実施するものです。

調査にあたり、市内にお住まいの18歳以上80歳以下の方1,000人を、住民基本台帳から無作為に抽出させていただきました。

回収したアンケート票は、統計的に処理し、本調査の目的以外に使用することはありません。また、このアンケートは無記名のため、個人が特定されることはありません。

ご多忙のところお手数ですが、本市のよりよい未来を創り上げるため、あなたのご意見をぜひお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

令和2年9月

尾鷲市

## ご記入にあたってのお願い

1. ご回答は、封筒のあて名のご本人がお答えください。
2. 黒の鉛筆又はボールペンでご記入ください。
3. 回答は、あてはまる番号を「○」で囲んでください。各設問文に（1つに○）、（あてはまるものすべてに○）などと指定してありますので、それに従ってご回答ください。
4. 設問によっては、該当する番号に「○」をつけた方だけにお答えいただく設問がありますので、その説明に従いご回答ください。
5. ご記入が済みましたら、お手数ですが同封の返信用封筒に入れ、投函期限までにご投函ください。

**投函期限：9月18日（金）まで**

◎本調査への質問または不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

尾鷲市役所 政策調整課 企画調整係

住 所 尾鷲市中央町10番43号

電 話 0597-23-8134

FAX 0597-22-2111

## あなたご自身についてお伺いします

①あなたの性別をお聞かせください。(1つに○)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

②あなたの年齢をお聞かせください。(1つに○)

1. 10歳代	2. 20～24歳	3. 25～29歳	4. 30～34歳	5. 35～39歳
6. 40歳代	7. 50歳代	8. 60歳代	9. 70歳代	10. 80歳

③あなたのお住まいをお聞かせください。(1つに○)

1. 尾鷲	2. 九鬼	3. 早田	4. 三木浦	5. 三木里
6. 古江	7. 賀田	8. 曾根	9. 梶賀	10. 須賀利

④あなたの主な職業をお聞かせください。(複数の場合は主な職業をお答えください)(1つに○)

1. 会社員・公務員	2. 自営業	3. パート・アルバイト	4. 専業主婦
5. 学生	6. 無職	7. その他 (            )	(夫)

## 現行総合計画の施策に関するご意見をお伺いします

現行の「第6次尾鷲市総合計画（平成24年度～令和3年度）」の進行管理にあたり実施した「平成元年度尾鷲市まちづくりアンケート」（令和2年1月実施）では、重要度が高い反面、満足度が低い施策トップ5は、以下の通りです。

これらの施策についてご意見をお聞きします。

順位	項目	内容
1	地域医療体制の確保	尾鷲総合病院の診療体制や設備、地域内の医療・診療所など
2	財政の健全化	行政組織のスリム化などの構造改革、財政運営の見直し、職員の意識改革を行い、持続可能な行政体体質への変革を図るなど
3	新しい人の流れの創出	多くの市民が住み続けたいと思い、市外の人も住み続けたいと思えるまちとなるような定住移住に対する取り組みなど
4	公共交通の確保	安全で利便性が高く、環境にやさしい公共交通により安全に暮らし、移動ができる取り組みなど
5	災害に強い都市施設の推進	災害に強い都市施設により、安心して快適に暮らせる取り組みなど

問1 以下の本市の施策について、平成24年度以降、現在までの間で良くなってきていると思いますか。各々の項目について、対応すると思われる番号に○をつけてください。(各々1つに○)

順位	項目	かなり良くなった	少し良くなった	少し悪くなった	かなり悪くなった	わからない
	(記入例)	1	②	3	4	5
1	地域医療体制の確保	1	2	3	4	5
2	財政の健全化	1	2	3	4	5
3	新しい人の流れの創出	1	2	3	4	5
4	公共交通の確保	1	2	3	4	5
5	災害に強い都市施設の推進	1	2	3	4	5

問2 上記問1のように思われる理由についてお聞きします。感じていることを自由にお書きください。特になければ未記入で結構です。

①地域医療体制の確保について

(例 尾鷲総合病院の存続、充実に向けた取り組みが実施されている)

②財政の健全化について

(例 事業が緊急度、重要度、熟度などの総合的な判断で実施されていると思う)

③新しい人の流れの創出について

(例 移住の取り組みを積極的に行っている)

④公共交通の確保について

(例 尾鷲市ふれあいバスが便利になった)

⑤災害に強い都市施設の推進について

(例 狭い道路が多く、災害時の避難が不安)

## 皆さんの身の回りで起きていることについてお伺いします

近年、私たちの身の回りでは、日本全体あるいは地球規模で以下のような様々ことが起こっています。

### 《1 人口減少・少子高齢化》

日本の人口は減少局面に突入しています。本市にあっては、平成22年の約21,400人が令和2年には17,500人（各年3月現在）に減少しており、今後もその傾向が続くと予測されています。高齢化率（65歳以上人口の割合）は、全国平均28.6%に対して本市は43.4%（令和2年3月）と高く、高齢化が進んでいます。

### 《2 若者の移住志向の高まり》

田舎暮らしを希望する若者の増加や、テレワーク（情報通信技術を使うことにより会社以外の場所で働く方法）の進展などにより、地方への移住希望者が増えており、人口減少対策や地域活性化策等として本市を始め各地で移住を促進する施策が行われています。

### 《3 新型コロナウイルス感染症対策》

現在、日本では新型コロナウイルス感染症対策を徹底するとともに、経済の再活性化に取り組むため、新型コロナウイルス感染症に備えた「新しい生活様式」の確立が求められています。

### 《4 地球温暖化と災害リスクへの備え》

温室効果ガスの排出等が原因となり、地球温暖化が世界共通の問題となっています。日本においては、地球温暖化の影響による集中豪雨、大型台風の発生などによる災害が多発しています。本市では、南海トラフ地震への備えも重要です。

### 《5 持続可能な社会づくり》

地球環境や経済活動等を持続可能なもとするため、世界的な取り組みが進められています。国連加盟国は、2030年までに世界の国々が取り組むべき「持続可能な開発目標」（SDGs（エスディージーズ）：Sustainable Development Goals）を採択しました。全部で17のゴール（目標）と169の詳細なターゲットが定められており、様々な分野で取り組まれています。

### 《6 先進技術の導入》

近年、情報・通信技術の進化により、日常生活や経済等に大きな変化が起きています。コンピュータのプログラムが自ら学習し判断能力を習得していくAI（人工知能）や、身の周りの様々なモノがインターネットにつながるIoT（Internet of Things）、多様かつ複雑な作業を自動化する「ロボット」技術等が次々と実用化されています。このような新たな社会を「Society5.0」と呼んでいます。

※Society 5.0の“5.0”は、人の社会のはじまりである「狩猟社会」を「Society “1.0”」として、「農耕社会（2.0）」、産業革命後の「工業社会（3.0）」、そして今日の「情報社会（4.0）」の次にあたる新しい社会を意味しています。

問3 あなたは、上記の1～6のことを知っていましたか。また、市の施策として、このような社会動向に対応することは重要と思いますか。

1～6の各項目について、あなたの考えに近いものを「認知度」と「施策の重要度」の中からそれぞれ1つずつ○をつけてください。

	認知度				施策の重要度				
	1 よく知っている	2 少しは知っている	3 聞いたことはある	4 知らない	1 重要	2 どちらかといえば重要	4 どちらかといえば重要でない	5 重要でない	6 わからない
※ 記入例	1	②	3	4	1	②	3	4	5
1 人口減少・少子高齢化	1	2	3	4	1	2	3	4	5
2 若者の移住志向の高まり	1	2	3	4	1	2	3	4	5
3 新型コロナウイルス感染症対策	1	2	3	4	1	2	3	4	5
4 地球温暖化と災害リスクへの備え	1	2	3	4	1	2	3	4	5
5 持続可能な社会づくり	1	2	3	4	1	2	3	4	5
6 先進技術の導入	1	2	3	4	1	2	3	4	5

## 《新型コロナウイルス感染症などへの対策について》

問4 新型コロナウイルスを含む感染症対策として、市はどのようなことをすべきと思いますか。  
(重要と思うもの3つまでに○)

1. 市民に予防のための方法を広報する(3密をさける、マスク着用、うがいなど)
2. 検査体制を充実する
3. テレワーク(会社に出勤せず、自宅などで仕事をする事)を推進する
4. 役所や公共施設において予防対策を徹底する
5. 民間施設、飲食店などにおける予防対策の要請を強化する
6. 尾鷲総合病院における医療体制を充実する
7. 民間の医療施設、介護施設における医療体制の充実を支援する
8. 収入が減った個人に経済的な支援を行う
9. 経営状況が悪化した事業所等に経済的な支援を行う
10. 影響を受けた漁業などに対して、市民や事業者等と協力して支援する
11. 不要不急の人の移動については自粛を要請する
12. その他 ( )

## 《地球温暖化と災害リスクへの備えについて》

問5 地球温暖化の影響について、あなたはどのようなことに関心がありますか。  
(関心の高いもの3つまでに○)

1. ゲリラ豪雨や台風による水害の増加
2. 熱中症の増加
3. 猛暑・暖冬など、気候の変化
4. 農産物の収穫量・品質への影響
5. 水産物の収穫量・品種への影響
6. 干ばつや渇水による水不足
7. 竜巻危害の増加
8. 海面上昇による高潮被害
9. 光化学スモッグの増加など、大気汚染の悪化
10. 動植物の生息地の変化や絶滅
11. その他 ( )
12. 特に関心はない

問6 温室効果ガスの排出を抑制するため、市はどのようなことを重点的に進めていくべきと思いますか。(重要と思うもの3つまでに○)

- |   |
|---|
| 1. 地産地消を推進する                            |
| 2. 公共施設の省エネを推進する                        |
| 3. 地球環境問題に関する情報を提供する                    |
| 4. 公共交通を便利にし、利用しやすくする                   |
| 5. 資源ごみの分別などによるリサイクルを推進する               |
| 6. 環境学習の機会を提供する                         |
| 7. 事業者と連携してCO <sub>2</sub> の排出削減などに取り組む |
| 8. 太陽光発電の設置や緑化推進などに対する助成を充実する           |
| 9. マイバッグ利用を推進するなど、ごみの発生を抑制する            |
| 10. 環境問題に取り組む市民活動への支援を充実する              |
| 11. その他( )                              |
| 12. わからない                               |

問7 本市では、地震や台風などの大規模自然災害に強いまちづくりを進めるため、「国土強靱化地域計画」の策定を進めています。これは、大規模自然災害に備えた強靱な地域づくりを進めるため、事前防災・減災や迅速な復旧・復興のための総合的な取組をとりまとめた計画になります。

この計画の策定にあたり、地震や台風・集中豪雨などの大規模自然災害に事前に備えるべき目標として、優先度が高いと思われるものは次のどれになりますか。

(優先度が高いと思われるも3つまでに○)

- |   |
|---|
| 1. 人命の保護が最大限図られること  |
| 2. 救助・救急、医療活動等が迅速に行われること  |
| 3. 必要不可欠な行政機能が確保されること   |
| 4. 必要不可欠な情報通信機能が確保されること   |
| 5. 経済活動を機能不全に陥らせないこと  |
| 6. 生活・経済活動に必要な最低限のライフライン（電気・ガス・上下水道・燃料・交通ネットワーク等）が確保されるとともに、これらの早期復旧を図ること |
| 7. 制御不能な二次災害を発生させないこと   |
| 8. 地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備すること   |

### 《持続可能な社会づくりについて》

問8 持続可能な社会を創っていくため、本市のまちづくりではどのようなことに重点的に取り組むべきと思いますか。(あてはまるもの2つまでに○)

1. セミナーの開催などの普及啓発活動
2. 各種の計画への反映
3. 企業などと連携した取組の実施
4. 部署を横断する推進体制の構築
4. 取り組む必要はない
5. その他 ( )
6. よくわからない

### 《先進技術の導入について》

問9 あなたは、先進技術の導入について、どのような印象やイメージをもたれますか。(あてはまるもの3つまでに○)

1. 生活の質が向上する
2. 消費者の多様なニーズに応えるサービスが提供され、便利になる
3. 地域や年齢等によるサービス格差が解消される
4. インターネットやパソコンなどのように、より画期的かつ身近な技術や製品ができる
5. ロボットやAIの普及により仕事が奪われ、生活の質が低下する
6. ロボットやAIなどができない困難な仕事が増え、労働環境が悪化する
7. 情報通信技術の習得度の差によって年収や処遇の差が拡大する
8. コンピュータウイルス感染などにより、個人情報流出が増える
9. コンピュータを活用した犯罪などが増える
10. その他 ( )
11. よくわからない

問10 先進技術の導入により、行政サービスについては、「デジタル化による利便性向上」「インフラ管理コストの低減」などが期待されます。このような取り組みについて、どのように思いますか(1つに○)

1. 市民サービスが良くなるよう、積極的に取り組むべき
2. 急激な変化にはついていけないので、慎重に進めるべき
3. 今のままでよい
4. その他 ( )
5. よくわからない



## 人口減少対策に関する現在の取組についてお伺いします

問 11 本市の人口は、現在約1万8千人で減少傾向です。このため、人口減少対策として以下のような取り組みを実施しています。これらの取り組みについて、現在の「満足度」と今後の「重要度」をお聞かせください。

(1)～(13)の各項目について、あなたの考えに近いものを「満足度」と「重要度」の中からそれぞれ1つずつ○をつけてください。

	現在の満足度						今後の重要度					
	1 満足	2 どちらかといえば満足	3 普通	4 どちらかといえば不満	5 不満	6 わからない	1 重要	2 どちらかといえば重要	3 現状のまま	4 どちらかといえば重要でない	5 重要でない	6 わからない
※ 記入例	○1	2	3	4	5	6	1	○2	3	4	5	6
<b>基本目標 1 安定した雇用を創出する</b>												
<b>(1) 農林水産物のブランド化の推進</b> 農林水産業の振興を図り、地場産業の成長を支援。生産技術の高度化、高付加価値化など。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
<b>(2) 食のまちづくりの推進</b> 尾鷲地域独特の食文化のPR、高付加価値化の取組を支援。食のイベント等の開催など。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
<b>(3) 後継者対策、起業支援、事業・企業誘致の推進</b> 新規就業希望者の実地研修等、若い世代への受け入れ態勢の整備。農商工連携、6次産業化など。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
<b>(4) 世界遺産と食を中心とした観光の振興</b> 着地型観光ツアー・各種イベント等の支援・実施。情報発信の充実など。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
<b>基本目標 2 新しいひとの流れをつくる</b>												
<b>(5) 定住の促進</b> 尾鷲高校との連携推進。若者の地域定着の推進など。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
<b>(6) 移住の促進</b> 住まいや仕事探しの支援、移住相談、サポート体制の充実など。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

	現在の満足度						今後の重要度					
	1 満足	2 どちらかといえば満足	3 普通	4 どちらかといえば不満	5 不満	6 わからない	1 重要	2 どちらかといえば重要	3 現状のまま	4 どちらかといえば重要でない	5 重要でない	6 わからない
<b>(7) 情報発信の促進</b> 尾鷲の自然や食などの魅力、移住者のライフスタイル等の生活情報を広く発信など。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
<b>基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる</b>												
<b>(8) 結婚・出産支援の充実</b> 結婚活動の支援、妊娠・出産に関する経済的負担の軽減及び妊娠期からの子育て支援など。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
<b>(9) 子育てしたいまちづくり</b> 学校教育の充実、安心して子育てできる環境の構築、学力向上や情操教育の推進など。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
<b>(10) 子育てしやすいまちづくり</b> 家庭、学校、職場、地域の連携による保育・教育環境の充実。延長保育などのサービス拡大など。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
<b>基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心して暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する</b>												
<b>(11) 地域特性を生かした尾鷲ならではの地域づくり</b> 各センター・コミュニティセンター機能の合理化・効率化。健康づくりの推進など。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
<b>(12) 安心して暮らせる地域づくり</b> 防災体制の強化、防災訓練等による住民の防災・減災意識向上。安全・安心な生活環境の確保など。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
<b>(13) 地域と地域を連携する</b> 各地域間の交流等の連携強化。地域の実情に応じた移動手手段の維持・確保など。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

問12 人口減少対策として、今後、どのような施策に重点的に取り組むべきと思いますか。  
(2つまでに○)

1. 安定した雇用を創出する(上記の基本目標1)
2. 新しいひとの流れをつくる(上記の基本目標2)
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる(上記の基本目標3)
4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する(上記の基本目標4)
5. 多様な人材の活躍を推進する(誰もが活躍できる地域社会の推進等)
6. 新しい時代の流れを力にしてまちづくりをする(SDGsの実践など、持続可能なまちづくり等)

**尾鷲三田火力発電所の跡地利用についてお伺いします**

問13 現在、尾鷲三田火力発電所の跡地利用計画『おわせSEAモデル グランドデザイン』が策定されています。計画では、

- S 集客交流人口拡大**(サービス・コンテンツの充実で市民も観光客も楽しめる場所へ)
- E 新たなエネルギーの活用**(再生可能エネルギーを活用した新たなエネルギー発生基地へ)
- A 働く場所・雇用の創出**(尾鷲の恵みと新たなエネルギーの有効活用で新ビジネスの創出へ)を目的としています。

あなたは、上記のそれぞれについて、どのような施設、機能、活動ができればよいと思いますか。ご自由にお書きください。

<b>S 集客交流人口拡大</b>	
<b>E 新たなエネルギーの活用</b>	
<b>A 働く場所・雇用の創出</b>	

**今後のまちづくりのキーワードについて**

問14 第7次尾鷲市総合計画の策定にあたり、将来のまちづくりの目標となるキーワードがあれば、お答えください。

例：みんなが安心して健やかに暮らせるまち

**《ここからは、18歳以上40歳未満の方にお聞きします。他の方は、問21にお進みください。》**

将来人口を検討するための基礎資料として、皆様の結婚・出産・育児に関するお考えについてお聞きします

**結婚についてお伺いします**

問15 あなたは、現在、結婚していますか。(1つに○)

- |           |              |               |
|-----------|--------------|---------------|
| 1. 独身(未婚) | 2. 独身(婚姻歴あり) | 3. 既婚(事実婚を含む) |
|-----------|--------------|---------------|

【問15で「1. 独身(未婚)」、「2. 独身(婚姻歴あり)」を選択した方にうかがいます。  
⇒「3. 既婚(事実婚を含む)」の方は問16へ

問15-1 現在、結婚していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1. 結婚したいと思える相手がない | 2. 家族を養うほどの収入がない |
| 3. 精神的に自由でいられない   | 4. 経済的に自由がきく     |
| 5. 異性とうまく付き合えない   | 6. 仕事(学業)に打ち込みたい |
| 7. 結婚資金が足りない      | 8. まだ若すぎる        |
| 9. 出会う機会、きっかけがない  | 10. 結婚に意味を見出せない  |
| 11. 理由は特にない       | 12. 上記以外の理由( )   |

問15-2 今後の結婚に関するあなたの希望は次のうち、どれにあてはまりますか。  
(1つに○)

- |               |               |          |
|---------------|---------------|----------|
| 1. いずれ結婚するつもり | 2. 結婚するつもりはない | 3. わからない |
|---------------|---------------|----------|

問15-3 結婚後も尾鷲市に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

- |           |             |          |
|-----------|-------------|----------|
| 1. 住み続けたい | 2. 住み続けたくない | 3. わからない |
|-----------|-------------|----------|

問16 尾鷲市が重点的に取り組むべき結婚支援事業は何だと思えますか。

(あてはまるものすべてに○)

- |                   |                        |
|-------------------|------------------------|
| 1. 安定した雇用の支援      | 2. 若い夫婦への住まいの支援        |
| 3. 結婚祝い金などの経済的支援  | 4. 婚活イベントなどによる出会いの場の提供 |
| 5. 結婚相談窓口(仲立ち)    | 6. 若い世代への結婚に関する講習会     |
| 7. 交際術やマナーなどを学ぶ講座 | 8. 結婚を推奨するようなPR        |
| 9. 行政がやる必要はない     | 10. その他( )             |

**出産・育児についてお伺いします**

問17 あなたは、現在、お子さんが何人いますか。(1つに○)

- |       |       |         |
|-------|-------|---------|
| 1. 0人 | 2. 1人 | 3. 2人   |
| 4. 3人 | 5. 4人 | 6. 5人以上 |

問 18 あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか（現在いるお子さんの人数も含む）。  
（1つに○）

1. 0人	2. 1人	3. 2人
4. 3人	5. 4人	6. 5人以上

問 19 理想的な子どもの数を実現するために、障壁となること（なりそうなこと）は何ですか。  
（あてはまるものすべてに○）

1. 子育てや教育にお金がかかりすぎる	2. 家が狭い
3. 自分の仕事に差し支える	4. 子育てを手助けしてくれる人がいない
5. 子どもを預ける施設が整っていない	6. 妊娠・出産・子育てに関する情報不足
7. 年齢的な問題	8. 育児・出産の心理的・肉体的な負担
9. ほしいけれど、できない	10. 配偶者の家業・育児への協力が見込めない
11. 上記以外の理由（	）
12. 障壁は特にな	

問 20 今後、育児に関するサービスとして、尾鷲市が最も力を入れるべきだと思うのは次のうち、  
どれですか。（1つに○）

1. 保育園・認定こども園などの施設の拡充	
2. 子どもを預かるサービスの時間の延長	
3. 子どもを預かる施設の教育・保育の質の向上	
4. 子育てに関する施設・サービス・イベントなどの情報提供の充実	
5. 各種助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付	
6. 子育てに係る母子・父子の保健・医療体制の充実	
7. 子育てに関する様々な講座、イベント、講演会の実施	
8. その他（	）
9. 行政が行うサービスをこれ以上増やす必要はない	

### 自由意見

問 21 市は、今後どのような施策を重点的に進めるべきだと思いますか。あなたのご意見をご自由にお書きください。


ご協力ありがとうございました。同封の返信用封筒に入れて投函してください。